

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 平成30年7月18日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	愛知県半田市	代表者名	榊原 純夫
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	
担当者役職		担当者氏名	
住所	475-8666 愛知県半田市東洋町二丁目1番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	遠藤 守
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	オープンデータ施策に関して、具体的に幅広い事例を交え説明していただき、自治体職員として、大変参考になりました。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、オープンデータの利活用推進等に関して、支援をしていただきたいと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	平成30年7月13日	16時00分	17時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	半田市役所		最寄駅	JR半田駅
	所在地	愛知県半田市東洋町二丁目1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩10分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	自治体職員	18人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	国が推進するオープンデータ施策に関して、地方自治体の職員は、どのように進めたらよいのか、手探りでっており、他の自治体などの動向や推進するにあたってのポイントなどの情報を収集している状態である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	オープンデータの利活用に関するアドバイス。オープンデータの動向に関する解説。特に遠藤先生は、全国各地の自治体の支援をしておられ、自治体の状況とオープンデータの動向の両面の幅広い知見から、知多半島の5市5町情報担当職員への講演をいただき、自治体職員がオープンデータに関する理解を深めることを目指します。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	オープンデータに関する全国の取組み事例などを、ご紹介、説明いただき、講演を拝聴した自治体職員が各自自治体において、オープンデータに関する取組みの一助になった。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	この講演をきっかけに、オープンデータに関する取組みを行う際に、アドバイスを求めることができるオープンデータの専門家とのチャンネルが持てたこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今回の講演は、オープンデータの取組みのきっかけとはなったと思いますので、各市町におけるオープンデータの取組みの具体的な実行方法については、これからの内容になると思います。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 (1)参考になった 14名、(2)参考にならなかった 0名、(3)どちらともない 1名。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	オープンデータとしての、データ提供と利活用が、当たり前のように一般的に進められること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

